

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	スタッフ	合 議



令和元年度第1回
上富良野町総合教育会議 会議録



令和元年11月11日

令和元年度第1回上富良野町総合教育会議会議録

- 1 開催日時 令和元年11月11日(月)
- 2 開催場所 上富良野町役場2階審議室
- 3 出席した者 構成員(6名)
- | | |
|----------------|-------|
| ・上富良野町長 | 向山 富夫 |
| ・上富良野町教育委員会教育長 | 服部 久和 |
| ・上富良野町教育委員会委員 | 菅野 博和 |
| ・上富良野町教育委員会委員 | 三熊 邦彦 |
| ・上富良野町教育委員会委員 | 久保 麻子 |
| ・上富良野町教育委員会委員 | 四釜 充啓 |
- 事務局他(6名)
- | | |
|---------------|--------|
| ・総務課長 | 宮下 正美 |
| ・総務課総務班主幹 | 上村 正人 |
| ・総務課総務班主査 | 佐藤根 祥太 |
| ・教育振興課長 | 及川 光一 |
| ・教育振興課学校教育班主幹 | 安井 民子 |
| ・教育振興課社会教育班主幹 | 眞鍋 一洋 |
- 4 協議事件 (1) 令和2年度教育大綱の重点施策を実現するための取組・課題について
(2) その他
- 5 開会宣言 午後2時00分
- 6 あいさつ 省略
- 7 協議事件の要旨 次のとおり

発言者	協議事件の要旨及び内容
教育振興課長 (及川)	(1) 令和2年度教育大綱の重点施策を実現するための取組・課題について ・別紙教育大綱に掲げる重点施策の現状及び令和2年度の取組について説明 (内容省略)

<p>向山町長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・只今説明していただきました課題については、教育委員会がこれまでも課題としていたところの延長線上にあるかと思いますが、1点だけ給食センターの整備につきましては広域連合と直結しております。過日、構成市町村の首長会議を開きまして、そもそも給食センターはどうするかと10年前のスタートした理念から申し上げますと、当初は富良野の給食センター1か所による集中供給の想定ではありましたが、現在、富良野エリアの児童・生徒及び教員を満たすだけの供給能力がなく、過日の説明では、令和元年から令和9年までの当初予定していた子供の減少を加味しても富良野市の給食センター1か所による供給は難しいとの見通しです。そのため、これからさらに10年間は現在の3施設体制を維持していこうと確認ができております。 ・それに基づいて本町の給食センターの維持管理を行っていききたいということ踏まえて補足したいと思います。
<p>服部教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、この6点の重点課題のうち、1点目のICT環境整備と6点目の学校の働き方改革の2つについては、国が主導的に進めなければならいとされており、それに向けて市町村はどうしていくかを考えていくといったものです。他の4点のうち、給食センター以外は町の単独的な課題としてどう進めていくのかといった分類に分けられると考えております。 ・学校ICTについて、最近ソサイエティ5.0、超スマート社会といった事を聞く機会が増えておりますが、その超スマート社会に向けてどう進めていくのか、また、少子高齢化により労働力が不足する中で、働き方改革の推進が求められ、教職員においても働き方改革を進めていかなければ「なり手」を確保することが難しい事もあり、改革を進めて行くことで質の高い教育の提供ができる人材の確保と体制整備を想定しております。しかし、国からの財政的支援については、補助金等ではなく包括的に算定される普通交付税として交付されているため、迅速的に展開していくには財源的な課題は大きいというところではあります。なお、国では補助金化の動きもあるような話が出ているようだと聞いております。 ・給食センターについて、先ほど町長からお話もありましたが、それ以外にも人手不足、衛生管理の徹底に伴う機材等の導入による作業スペースの不足、施設の老朽化等による高温多湿が常態化した労働環境といった課題もあり、このような点からも施設の整備は必要であると考えているところです。最近道内の給食センターで改善が進められており、そういった対応をしていかなければ人の確保ができないのではと感じているところです。
<p>向山町長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補足説明をさせていただきました。皆様のほうから忌憚のない意見をいただきたいと思います。

菅野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの整備について、建て替えを考えているということでしょうか？
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・連合の教育員会議では分かりませんが、首長会議においては当初は（富良野市に）一本化しようということで想定し10年経過しましたが、岩見沢で食中毒が起き、それからは一定程度分散が必要だという認識が首長間で共有されてきたことと、各地域のソウルフードを活用した地産地消の取組などを行ってきており、そういった事は外せないと考えております。
服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応も考えていかなければなりません。非常時に対応できるシステム作りも求められてきているところです。
菅野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど高校も給食化する話もあり、給食センターが重要となってくるのではないのでしょうか。
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の3施設体制を否定的にとらえている首長は現在のところいません。富良野市のセンターは、今後10年は維持できるだろうと、また、本町も10年は維持できると考えており、令和4年に次の5か年計画を策定するときは当初の考え方と方向性が変わるような雰囲気があると捉えております。そうなりますと、今の総合計画に給食センターを位置付けておりませんので、中間見直しで位置付けしていくべきテーマになっていく可能性があると考えております。
服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在米飯は委託しておりますが、2年ぐらい前に災害があった時に町内業者に依頼した経過もありましたが、町で対応できるよう危機管理の面からも話題に上がってきております。 ・もともとは2,400食で現在は1,000食程度だが、機械の導入により作業スペースの余裕もなく、作業導線が悪いなどの課題も上がっております。 ・2年前に倶知安町の視察を行った際は1,400食を作る施設の建て替えで14億円かかっていると伺っております。空調管理などの電気代やメンテナンス等のランニングコストも相当高くなるといった話も聞いております。
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・富良野広域の計画では3,000食になれば富良野一か所で供給できるとの事です。
教育振興課長	<ul style="list-style-type: none"> ・今は衛生基準等が変わり、2,800食になっております。 ・衛生基準が変わる事、機械が大型になっている事で作業できる面積が減っております。イメージとしては供給食数が減って作業が減っているのではと思われるのですが、現実には違うことをご理解いただきたい。

向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・このほかご意見いかがでしょうか？
三熊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの環境整備について、先日教育委員の研修においてもICT化について講演されており、素晴らしい設備が入っているのにもかかわらず、実際に活用がされていないケースもあるようですが、現状の上富良野町における整備状況や既に整備されている設備についてどのように活用されているのか伺います。
服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・設備はそろっております。管理職含め運用を進めていますが、どう使えばいいかも職員に広めなければならないですが、行政が主導で行くと魂が入らないというのがあります。 ・講演では、便利なシステムを導入しても、慣れている従来の手法を継続してしまいがちなので、導入した意義や使用方法を理解してもらい、職員を「ICTを活用していくという『意識』」に変えていかなければ、活用は進まないといった内容でした。本町では学校に電子黒板を導入しているが、頻繁に使われている状況ではありません。教育委員会ではICT推進委員会をつくり進めていく必要があると考えております。
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備は投資をすれば進んでいきますが、根本には活用されるような体制づくりが必要だと考えております。 ・道内的にはどれぐらいの整備がされているのでしょうか。
教育振興課長	<ul style="list-style-type: none"> ・道内では、教室の大型テレビが設置され、グループに1台のタブレットが導入されている状況です。中には占冠のようにモデル事業として進められていて、1人1台の市町村もあります。
服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン教室に移動して授業を行うといった時代ではなくなってきており、タブレットを整備して通常の教室で授業を受けるように対応していかなければならないと考えております。 ・ICTの活用については、学校に対してこまめに研修等を行い、気持ちを変えていかなければ上手いかなと考えております。
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・このほかご意見いかがでしょうか？
久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽部の楽器の整備について、個人で所有している楽器を使用している状況との説明もありましたので、学校の備品ということもありまして、ぜひ整備していただければと思います。

向山町長	<p>・どの部活にも一定程度同様に整備しなければならないという学校現場の難しさはあります。私としては学校現場に任せるだけでは整備が進まないと思うので町として対応できないか検討しておりますが、しかしながらやはり一気に整備することは予算的に難しい事です。また、楽器については小学校もあり、中学校については1校で、割と理解はいただけますが、小学校は3校あるので、調整は教育委員会に音頭を取ってもらう必要があると考えております。現場の状況として段階的に整備を行う時間が持てるのかを含め、計画的に考えたいところです。</p>
服部教育長	<p>・学校単位で整備するよう考えなければならないと考えております。買い替えではなく、楽器によっては修理で使えるものもあると考えております。</p>
向山町長	<p>・我々としましては、町民からも認知度があり大切な部活であると理解しております。楽器の整備については私の中でも課題であると認識しております</p>
向山町長	<p>・このほかご意見いかがでしょうか。</p>
四釜委員	<p>・働き方改革に関連することで教えていただきたい事があり、自分の子供も今小学校で少年団に加入しているのですが、指導していただいている先生方に対し手当はあるのでしょうか。</p>
教育振興課長	<p>・各少年団については、教育委員会では把握しておらず、各団の保護者会などで燃料代等の手当があるかと思いますが、部活動については、平日はありませんが、休日の大会等に出た場合に少額ですが手当が出る形で、ほとんどボランティアといった状況です。</p>
服部教育長	<p>・小学校の先生の場合は、職場から離れた社会教育事業に個人として参加している位置づけで、中学校の場合は学校のクラブ活動でやっている所以道教委から手当があります。</p> <p>・本町では小学校の先生イコール少年団の構図がありますが、この構図は北海道では多いですが、全国で見れば北海道だけで、地域の方が指導者をしていることが多く、本町にもありますがスポーツクラブ化され、そこから指導者が出ているものもあるようです。本当はそういった方向に移行しなければなりません。指導者不足の課題があり移行できないですが、全国的にはそういう流れになっております。</p>
向山町長	<p>・少年団の指導者になっている先生の指導中のけが等の取扱いはどうなっているのでしょうか。</p>

服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育活動なので、それぞれで保険の加入等を行っている状況です。 ・近年、部活動やスクールバンドについては指導する時間も決められており、休みをつくるよう指導しているところです。運動部については、大会が終わったタイミング等でまとめて休ませているといった状況もあります。しかし、自主練で長時間練習しているケースもあり、そうすると先生も休めないのも、という風に労働時間の問題を現場になじませるか、また、外部講師といった選択も含め地域に託されているところもあり、課題として捉えております。
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の重点施策において、通級指導についてなかなか耳にする言葉ではないと思いますので、事務局より説明願います。
教育振興課長	<ul style="list-style-type: none"> ・通級指導は吃音等の対応をするために別の教室での学習としたのが始まりで、その後10年前ぐらいから特別支援学級が始まり、通級指導は、従前の対象者のほか、特別支援教室の対象ではないが多少の支援が必要な児童が通うといった仕組みとなり、基本的には1日に数時間程度通常教室を離れ支援してく形となっております。
服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は中学校に上がると制度が無くなってしまいますので、細やかに支援してく事が必要と考えております。他地域では中学校においても通級指導を行っているところが若干増えていると伺っており、学校現場においては、中学校においても運用できないか、という話があります。通級指導の対応には本来加配として先生が配置される場所ですが、すぐには配置されないのも、配置までは町独自で経費を支出しなければならないこととなります。
学校教育主幹 (安井)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在「発達障害」について医学的に分かってきており、小学校の特別支援制度もきめ細やかに支援するようになっていますが、中学校になると、学校や保護者の考えは別に、自分が支援学級にいることを否定したい気持ちになる生徒もおり、なかなか必要な支援を提供できていないような場合もあります。通常学級か特別支援学級だけではなく、通常学級に通いながら必要な支援を受けることができるのがこの通級指導だと考えていますので、そういった形にできれば良いと考えております。現在は高校においても通級指導が受けられるところもあるので、必要な支援を受けながら社会に出ていけるような仕組みがあればと考えております。
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・早めに対応すれば身につけることができ、障害を解消できることが統計的にあるようなので、発達障害に対して幼児の時から就学時まで一貫した形で対応することが有効と考えます。

向山町長	・このほかご意見いかがでしょうか。
菅野委員	・教育委員の研修会の際、他の町村の委員と話をしていて良いと思ったのですが、町長も学校訪問に同席できないでしょうか。
向山町長	・今年は日程が合いませんが、(次年度以降)ご要望があれば。
向山町長	・このほか特にご意見等なければ、今回の資料にあります6つの事項について令和2年度の重点課題としておさえさせていただくことでよろしいでしょうか
一同	・異議なし
向山町長	・それでは、重点課題として確認しました事項については、しっかりと取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いしまして閉会させていただきます。

8 閉会宣言 午後 15 時 30 分

上記会議の経過は、書記の調製したものであるが、その内容の正確なることを証するため、ここに署名する。

令和元年12月12日

上 富 良 野 町 長

上富良野町教育委員会教育長